

# 下野市立国分寺小学校

## 1 学校課題

～聴き合ってやさしき風を起こし、学び合っているのちを輝かせる～

**聴き合い、学び合う子どもを育てる**

## 2 研究計画

### (1) 研究のねらい

学年共同体制を基盤にした「聴き合う関わりを深める工夫」の実践を通して、指導目標である「聴き合い、学び合う子どもを育てる」の具現化をめざす。

### (2) 研究の経緯と方針

#### ① 経緯

本校では、これまで「聴き合い、学び合う子どもを育てる」を学校課題指導目標とした研究を行ってきた。その中で「教材との対話」「友達との対話」「自己との対話」を大切にしてきた。

今年度は、「学び合いのよさを実感できる指導の工夫」「言語活動の充実によるコミュニケーション能力の育成」を努力点とし、更に個々の課題を踏まえ学年・ブロック等の共同体制を重視して、協同的、活動的、反省的な授業の実践に取り組むことで「学び合う子ども」を育てることをめざすとともに、各授業研修や青柳先生・上原先生を交えてのS&Uコラボ事業に関わる研修会を通して研究を進めてきた。

#### ② 方針

本年度は、引き続き学年・ブロックの共同体制を重視して、言語活動の充実を図りながら、学び合う子どもの育成に取り組んでいく。

### 聴き合い、学び合う子どもを育てる

#### 学年（ブロック）が共同体となって

- ねらいの明示
- 学習問題（何を学ぶかを明らかにする）
- 教材の工夫開発
- 指導と評価の一体化
- 操作活動の工夫
- 導入・資料・発問の工夫
- 一人ひとりに目を向けた指導の工夫
- 知識の習得と活用

《日々の実践を通して  
聴き合うかかわりを深める》

- ・相手の話を聞く態度の育成
- ・課題に対して必ず自分の意見を持ち、自分の意思表示をする場の設定
- ・友達の考え方のすばらしさに気づき、共に高め合う学習形態の工夫
- ・児童理解

《同僚性を築き  
自立する教師をめざして》

- ・個人研究のテーマを踏まえた授業研究
- ・言語活動の充実（年計への位置づけ）
- ・授業公開による学び合い
- ・授業研究会の進め方の工夫
- ・学年共同体制を構築、組織としての教育力の強化

#### 学び合う子どもの育ちを支える学級経営

- 基本的な生活習慣・規範意識・学習規律の日常的な指導の充実 ← 国小ミニマムの作成
- 一人ひとりに配慮した学級経営の充実
- 学習環境の整備 教室づくり（やさしき風が流れる教室）  
環境づくり（清潔な教室・掲示物等）

### 【 低・中・高ブロックでの取り組み 】

低学年…進んで表現し、わかりやすく伝えることができる児童の育成

中学年…思考力・表現力・判断力を高めるための言語活動の充実

高学年…言語活動を充実させるための指導の工夫 ～思考力を高める言語活動の充実～

上記のように各ブロックでの指導の方針を決め実施していく。

### 3 研究内容

#### (1) 学校課題個人研究テーマ

クラス	研究テーマ
1-1	みつけた喜び、できた満足感を味わえる単元展開の工夫
1-2	子どもの言葉の力を引き出す指導のあり方
1-3	楽しく伝え合い、聴き合える学級作り～隣のお友達から、クラスのみんなへ～
2-1	自分の思いを豊かに表現できる児童の育成 ～国語科・生活科における聴き合い、学び合う学習活動の充実について～
2-2	自分の考えを進んで表現し、相手の意見も大切にできる授業の工夫 ～道徳の授業を通して～
2-3	相手と話したり、聞いたりしながら、学び合い高め合う児童の育成を目指す
3-1	子どもが動き、集団のよさを実感できる授業展開の工夫 ～国語科を中心に～
3-2	自分の思いを表現し、互いの意見を認め合える授業の工夫 ～道徳を通して～
3-3	主体的に社会と関わり、考える力・表現する力を育てる学習活動の充実 ～社会科における聴き合い、学び合いの充実を図りながら～
4-1	聴き合い、学び合う活動を充実させるためにグループ学習を取り入れた授業の工夫 ～学習意欲の向上を目指して～
4-2	「わたしの考えはこうだ！→ふむふむ、なるほど！→こうすればもっとよくなるよ！」
4-3	グループ学習を効果的に取り入れた、聴き合い、学び合える授業の工夫 ～思考力・表現力・判断力の向上を目指して～
5-1	I C T機器を活用し、学習意欲を喚起させる指導の工夫
5-2	集団の中で学習することの良さを実感できる授業の工夫 ～みんなで学び、みんなで考え、みんなで深める授業づくり～
5-3	自ら表現し、聞き合い、考えを深め合う子どもを育てる
6-1	学び合う子どもの育ちへの支援 ～言語活動を充実させるための指導の工夫～
6-2	音楽の楽しさを感じよう！ ～お互いに聴き合い、言語活動を充実させるための指導の工夫～
6-3	児童が主体的に学び、話し合う、意欲的な学習活動への工夫
しいの木1	聴き合い、学び合う授業展開の工夫
しいの木2	日常生活・生活単元の時間で、発表しよう
T. T. 学習指導	グループ学習を効果的に取り入れた学び合いの授業の工夫 思考力・表現力・判断力を高めるための言語活動の充実 ～授業（音楽・家庭科）、校内研修を通して～
教務主任	理科学習における言語活動の充実を目指して ～理科の事象・現象に関して自分の考えをもち、表現する活動を通して～

#### (2) 年間授業研修会

要請訪問、S&Uコラボ事業
8/4 要請訪問 講話・実技「Q Uテストの効果的な活用の仕方について」 ※下都賀教育事務所 神宮司賢一郎先生
9/17 6年3組 算数 「速さ」 ※宇都宮大学教授 青柳 宏先生
10/15 1年2組 算数「くらべかた」 ※宇都宮大学准教授 上原 秀一先生
11/12 3年3組 社会 「売る仕事」 ※宇都宮大学教授 青柳 宏先生
校内授業研究
6/18 2年1組 生活科 3年1組 国語 5年2組 学活
6/25 しいのき1組 国語 4年3組 音楽 6年1組 道徳
7/9 2年3組 国語 4年3組 学活 6年2組 音楽
11/19 1年3組 国語 4年2組 図工 5年3組 算数
12/10 1年1組 生活科 3年2組 道徳 4年2組 理科 5年1組 学活
1/21 しいのき2組 生活単元 2年2組 道徳 4年1組 国語 5年3組 家庭科

#### 研究授業の様子

1年 算数  
「くらべかた」  
S&Uコラボ事業)



3年 社会  
「売る仕事」  
S&Uコラボ事業



### 4 本年度の成果と課題 (○は成果、●は課題)

- ペア、グループでの話し合い、学び合いができるようになってきた。
- 資料や発問、場の設定などを工夫することで、言語活動の充実が見られた。
- ペア→グループ→全体の話し合いが少しずつできるようになってきた。
- よりテーマに迫るための教材開発・学習形態の工夫・話し合い活動の指導等に取り組んでいきたい。
- 全体での話し合いがより深い練り合いとなるような、教師の支援の仕方についてさらに研究していきたい。